

チャペル週報

No.3

2018.4.23 ~ 4.27

「わたしは世の光である。
わたしに従う者は暗闇の中を歩かず、
命の光を持つ。」

(ヨハネによる福音書 8章12節)



吉岡記念館とランバス記念礼拝堂

関西学院宗教センター

☆ チャペル・スケジュール ☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

4月23日(月) 神 私の好きな聖書のことば② 加納 和寛(神学部准教授)
経 音楽チャペル グリークラブ
人 藤井 美和(人間福祉学部教授)
理 Eco-Habitat 関西学院
聖和 聖書物語「虹の橋」

4月24日(火) 神 Chapel in English David Wider(神学部教授)
文 宗教総部
社 音楽チャペル ゴスペルクワイア "P.O.V."
法 伊勢田 道仁(法学部教授)
経 イースターを迎えて 舟木 讓(宗教主事)
商 音楽チャペル グリークラブ
理 音楽チャペル チャペル・オルガニスト
総 Bridge for Children, KGU
教 プレインヒューマニティ

4月25日(水) 神 音楽チャペル バロックアンサンブル
社 宗教総部
法 西澤 他喜衛(日本基督教団甲東教会牧師)
経 関西学院と校歌① 舟木 讓(宗教主事)
商 賛美歌オリエンテーション 聖歌隊
人 イースターを迎えて 嶺重 淑(宗教主事)
国 音楽チャペル グリークラブ
理 イースターを迎えて 前川 裕(宗教主事)
総 村瀬 義史(宗教主事)
教 音楽チャペル 混声合唱団エゴラド

4月26日(木) 神 安崎 嗣穂(神学研究科M2)
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 「KGスピリット」とは③ 村田 泰子(社会学部教授)
法 廣瀬 規代志(日本基督教団関西学院教会牧師)
商 音楽チャペル バロックアンサンブル
国 Chapel in English Jesse Olsen(The University of Melbourne)
総 音楽チャペル グリークラブ
聖和 短期大学イースター礼拝

4月27日(金) 院 山本 俊正(商学部宗教主事)
神 私の好きな聖書のことば③ 井上 智(神学部助教)
文 Chapel in English Andreas Rusterholz(宗教主事)
人 賛美歌を歌おう③ 聖歌隊
理 前川 裕(宗教主事)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:20～8:40

ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

4月27日(金) 人権教育研究室のために

武田 丈(人権教育研究室長)

赤いバラの思い出

小池 洋次

赤いバラを見るといつも思い出す。もう10年ほど前のある秋の日、仏ノルマンディーの保養地ドーヴィルでのことだった。

世界女性フォーラムの総会に夫婦で参加したあと、パリに向かおうとドーヴィルの駅のホームを歩いていると、ベンチに帽子から靴まですべて鮮やかな赤で決めた年配の女性が一人、分厚い書物をペン片手に読んでいた。脇にはやはり真紅のバラの花束…。「なんて素敵なお人なのだろう。作家だろうか」。そんな話をしながら列車に乗り込み、サンドイッチを手にとると、突然その女性が近づいてきて「ボナベティ（召し上がれ）」。3人での小旅行が始まった。

女性はフランス人で、ディアンヌ・ドゥリアーズさん。80歳過ぎと言うが、そうは見えない。彼女の話にはぐいぐいと引き込まれてしまった。英語が中心だが、時折、日本語も混じる。聞けば、若いころエアーフランスのキャビン・アテンダントで、日本航空に派遣され、2年間、日本に滞在したという。大変な日本通で、大相撲の力士の名前まで記憶しているほどだった。メモワール（回想録）を出版していて、日本の筑摩書房から翻訳が出ているという。タイトルはLA TÊTE À L'ENVERS（頭を逆さま）。そう、彼女はかつてサーカスの空中ブランコ乗りだったのである。詩人でもあり、舞台女優を務め、映画に出たこともあるそうだ。芸術家や文学者との交友も広く、おそらく彼女はアイドル的な存在だったのだろう。ピカソの家にも出入りしていたと言っていた。

途中でパリ行き急行に乗り換え、それぞれ別に指定の車両へ。やがてパリのサンラザール駅に着いた。「彼女とは、もう会えないのだろうか」。そう話しながら、長いホームを歩き、出口に向かおうとしたときだった。なんと、ディアンヌが立っているではないか。赤いバラ一輪を手にとり…。そして日本語で「しあわせ」と言ってそのバラを差し出したのである。お幸せにという意味か、会えて幸せだったと伝えたかったのか。まるで映画の一シーンを見ているような体験だった。

その後、連絡を取り合うこともなく、数年前、彼女が亡くなったことを知った。ディアンヌはあのとき、詩人として女優として精一杯のパフォーマンスを披露してくれたのではなかろうか。心に残る一期一会である。

(総合政策学部教授)

●チャペルオルガニスト募集

関西学院では毎年チャペルオルガニストを募集しており、本年は4月28日(土)にオーディションを行います。採用されますと個人レッスン(有料)を受けることができ、チャペルの奏楽をはじめ、発表会、研修会、コンサートなどを通して、教会音楽を中心とした幅広い知識、技能を身につけることができます。

募集要項・応募用紙の入手先

・ホームページ

関西学院大学ホームページからダウンロードできます。



QRコードリーダー対応の携帯電話をお使いの方は、左記のQRコードからアクセスしてください。

・電子メール

organist@kwansei.ac.jpにあなたのキャンパス名を書いたメールを送信してください。返信で送ります(添付ファイルが受信可能なメールアドレスからお送りください)。

・事務室

宗教センター(吉岡記念館1階)、聖和キャンパス事務室教育学部担当(1号館1階)、神戸三田キャンパス事務室(アカデミックコモンズ1階)に置いています。

応募期間: 4月2日(月)～4月26日(木)の事務室開室時間
お問い合わせ・資料請求: 宗教センター オルガニスト募集担当
電話: 0798-54-6018、E-mail: organist@kwansei.ac.jp

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アブロズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。

【どなたでもご自由にご参加ください。】(17:50～18:20 1405教室)

2018年4月主題: 「イースターを迎えて」

4月26日(木) 舟木 譲 (宗教総主事)

●関西学院イースター礼拝

イエスの復活を覚えて、関西学院のルーツに触れてみましょう。

参加者にはイースターエッグ(ゆで卵)をプレゼントします。

と き: 4月25日(水) 17:00～18:30

と ころ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)

主 催: 関西学院宗教活動委員会

協 力: 宗教総部、チャペルオルガニスト、聖歌隊、ハンドベルクワイア、バロックアンサンブル、ゴスペルクワイア、聖書研究会ポブラ、留学生有志

●ランバスチャペル・ヌーンコンサート

西宮上ヶ原キャンパスの正門に入って右手に見えるチャペル「ランバス記念礼拝堂」では、礼拝はもちろん、コンサートや式典、講演会、卒業生の結婚式などが行われています。5月に入ると関学を代表する音楽団体による恒例のヌーンコンサートが開かれます。お昼休みのひととき、どうぞ耳を傾けてみてください。

5月7日(月) 関西学院聖歌隊

5月9日(水) 関西学院大学混声合唱団エゴラド

5月10日(木) 関西学院グリークラブ

5月16日(水) 関西学院交響楽団 管楽アンサンブル

5月23日(水) 関西学院交響楽団 弦楽アンサンブル

5月24日(木) 関西学院バロックアンサンブル

5月30日(水) 関西学院ゴスペルクワイア

6月6日(水) 関西学院ハンドベルクワイア

6月7日(木) 関西学院大学応援団総部 吹奏楽部

いずれも12:50～13:20

と ころ: ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原キャンパス)

主 催: 宗教センター

●オルガン音楽の泉 2018 Spring semester

パイプオルガンの響きに癒うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第25回 5月4日(金・祝) 太宰 まり (関西学院オルガニスト)

第26回 5月24日(木) 渡邊 清人 (Organist at First United Methodist Church
in Wichita Falls, Texas USA)

渡邊知江美 (Organist at Floral Heights United Methodist Church
in Wichita Falls, Texas USA)

第27回 6月18日(月) 高橋 聖子 (同志社女子大学嘱託講師)

いずれも12:50～13:20[開場12:40予定]

と ころ: 関西学院中央講堂(125周年記念講堂)

主 催: 宗教センター